

「よんでんグループ中期経営計画 2025」の概要および 2050 年カーボンニュートラルへの挑戦について

1. 「よんでんグループ中期経営計画 2025」の概要

当社グループは、エネルギーを中心として、人々の生活に関わる様々なサービスを高い品質で提供し続けることにより快適・安全・安心な暮らしと地域の発展に貢献するというグループミッションを掲げ、「暮らしを支えるマルチユーティリティー企業グループ」の実現を目指して事業運営を進めています。

今後、デジタル技術の進展や脱炭素化、分散化等による電気事業の構造的変化に加え、人口減少や少子高齢化等に伴う社会的課題が顕在化していく中であっても、こうしたグループミッションを実現できるよう、2030 年度を見据えた長期目標と目指すべき将来像を掲げた上で、2025 年度までの5カ年をターゲットとした経営方針と定量的な経営目標を新たに設定し、本年3月、「よんでんグループ中期経営計画 2025」として取りまとめました。

① 経営方針

当社グループの有する経営資源の最大活用と、地域・他事業者との積極的な連携により、

- ・電気事業については、発電・販売・送配電ごとの事業基盤の強化と収益性の向上
- ・電気事業以外の事業については、情報通信事業・国際事業を中心とした成長事業の拡大

を図ることで、電気事業とそれ以外の事業を両輪として、持続的な企業価値を創出することとしております。

<2025 年度をターゲットとした取り組み方針>



② 経営目標

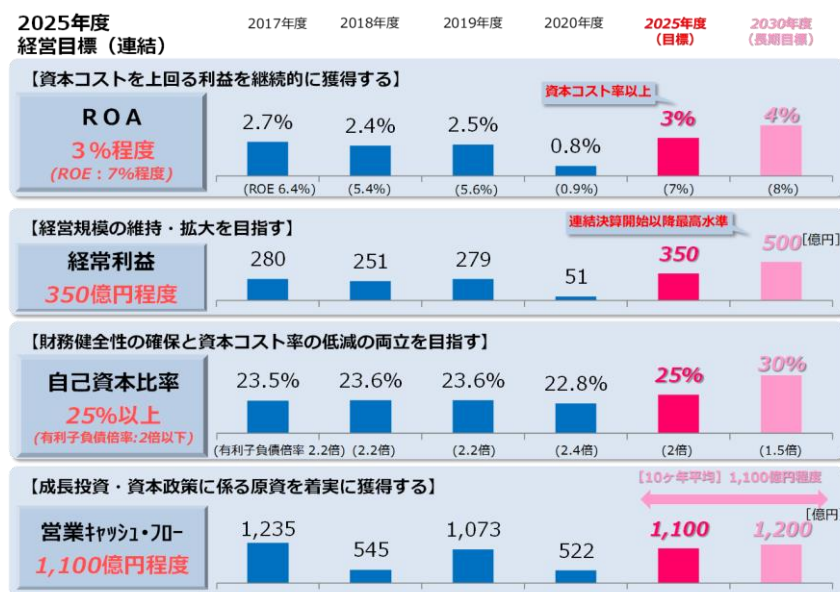
定量的な経営目標については、

- ・2025年度におけるROA（総資産利益率※） 3%程度
- ・2025年度における経常利益 350億円程度
- ・2025年度末における自己資本比率 25%以上
- ・10カ年平均（2021～2030年度）の営業キャッシュ・フロー 1,100億円程度

を目指してまいります。

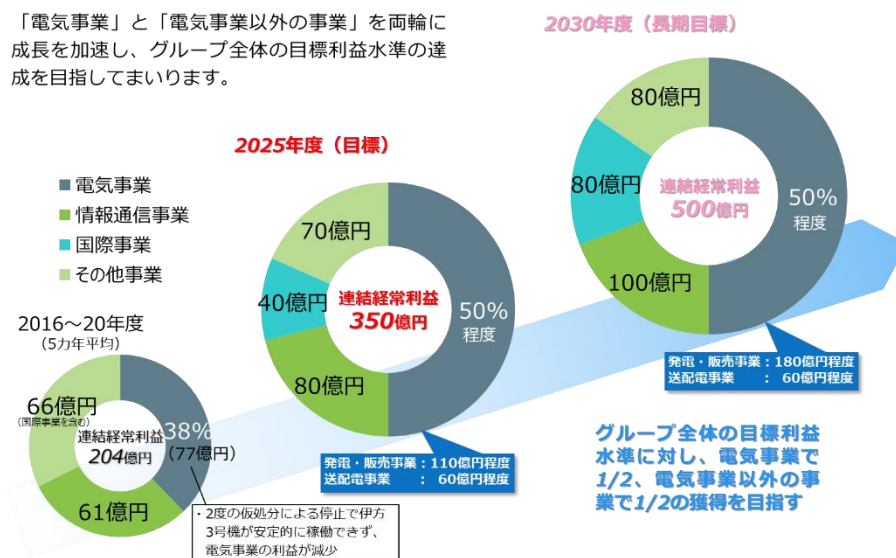
※ 総資産利益率：事業利益（経常利益＋支払利息）÷総資産（期首・期末平均）

＜経営指標（連結）＞



＜セグメント別利益目標＞

「電気事業」と「電気事業以外の事業」を両輪に成長を加速し、グループ全体の目標利益水準の達成を目指してまいります。



当社グループは、今後も、お客さまの暮らしや経済・産業活動に欠かすことのできないエネルギーをお届けする事業者としての公益的使命や社会的責務を着実に遂行するとともに、本計画に掲げる経営目標の達成に向け、グループ一丸となって挑戦していくことにより、将来に亘って持続的に成長・発展していく企業集団を目指してまいります。

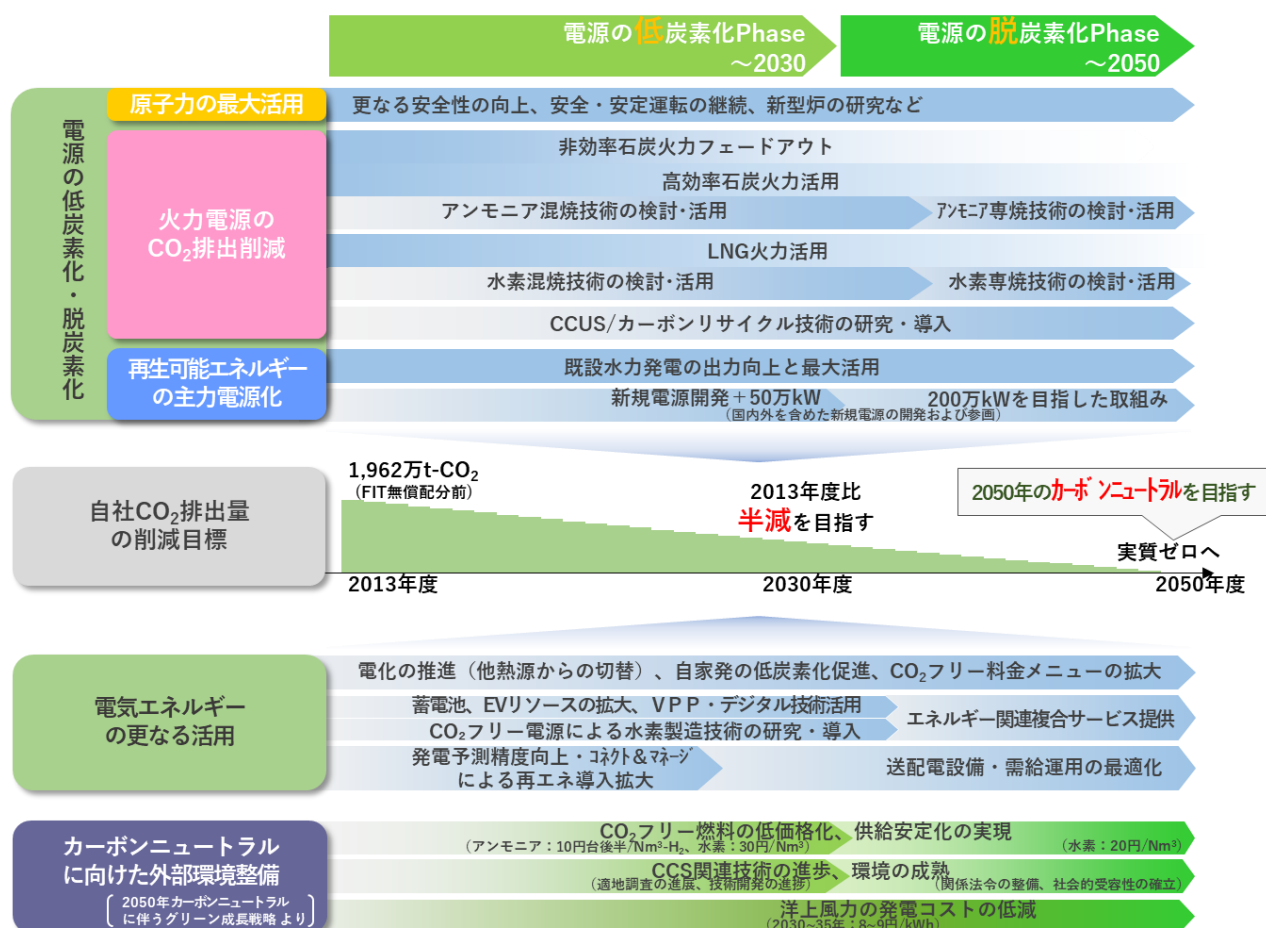
2. 「2050 年カーボンニュートラル」 への挑戦について

当社グループは、かねてより、地球温暖化問題への対応を重要な課題と認識し、事業運営に取り組んでおります。こうした中、企業のESGやSDGsへの取り組みが世界的に広がりつつあるほか、日本政府が「2050 年カーボンニュートラル」を宣言し、2030 年度の温室効果ガス排出量を 2013 年度から 46%削減することを目指すと表明するなど、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しております。

こうした社会的な潮流も踏まえ、当社グループは、エネルギー供給を支える責任ある事業者として、安全確保を大前提とした原子力の活用や再生可能エネルギーの導入拡大、火力発電の高効率化・次世代化等による「電源の低炭素化・脱炭素化」を進めるとともに、産業・運輸部門も含めた電化の推進や分散型エネルギーリソースの有効活用などエネルギー利用の高度化・多様化に取り組むことで「電気エネルギーの更なる活用」を推進してまいります。

当社グループは、こうした取り組みを通じて、「2050 年カーボンニュートラル」へ挑戦していくことで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

○ よんでんグループ 2050 年カーボンニュートラルへの挑戦 ～ロードマップ～



以 上